

建設委員会傍聴記

「スーパー堤防など強固な堤防整備の促進を求める要望書」出回る 土木部は否定するも町会長は区から「依頼を受けた」と文書に明記

12月2日（木）午前10時から建設委員会が開かれ、スーパー堤防に関しては35号以下10件の陳情審議が行なわれました。

この日、注目されたのは江戸川区に關係する88団体、その代表者から11月末に出されている「スーパー堤防などの壊れない強固な堤防整備を求める要望書」です。土木部は關係していない、と否定しましたが、ある地区の町会長は「江戸川区より署名を進めるよう依頼を受けました」と明記されているのです。委員会の動きとともに報告します。

片山(副)委員(公明) いま、連合町会長が中心となった動きがある。国の方向性もみて静観するしかない。

中里委員(民主) 町会にも回っている。署名に関して区はどう考えるか。

土木部 区民は江戸川区を「0.3m地帯」と認識している。我々にとってはありがたいことだ。

中里委員 区は指導したのか。

土木部 指導はない。

中里委員 「区の要請によって」の文言があった。スーパー堤防に政治的な絡みがある。町会、自治会に署名を回すのはおかしい。

土木部 我々が要請したことはない。江戸川区は低平地に67万人がいる。スーパー堤防は治水の安全度の問題。

中里委員 実際には政治の中で判断されている。

土木部 政治的マターで治水が判断されたら困る。大自然を相手に治水を考えている。安全でない事実を元にして

中里委員 治水、防水を全くやらなくていい、と言っているのではない。

新村委員(生活者ネット) 事業仕分けされたとき、土木部長の「命の仕分け」などの発言は曲解している。時間や費用対効果などの手法に対して仕分け、と判断している。スーパー堤防以外の方法を考えていい、と思う。署名運動は逆に区民を混乱させている。

土木部 スーパー堤防に代わる代替案が示されたのか。スーパー堤防は国策だ。代替案もなく、治水はやる、とは考えられない。(推進の)署名はありがたいと思っている。

新村委員 区民が混乱しているのは事実。スーパー堤防は転換する可能性がある。18班地区にもそれを伝えるべき。

片山(知)委員(自民) 陳情の中で肝心なのは賛成、反対があってもどうするかが大事。スーパー堤防は廃止すべき、の方向が出た。江戸川区が廃止すれば、これまでやって来たことはどうなるのか。仕分けで廃止されたのは特別会計だ。スーパー堤防そのものが廃止になった訳ではない。正しい方向性を持つ。陳情は今日結論を出してもいい。

片山(副)委員 江戸川区全体の声が上がってきた。いいことではないか。スーパー堤防は次世代に向けてやるべき事業だ。

須田委員(共産) 署名問題は建設委員会の所管ではない。町会、自治会もバラバラ。非民主的で思想統制のようなものだ。スーパー堤防廃止は金だけの問題ではない。

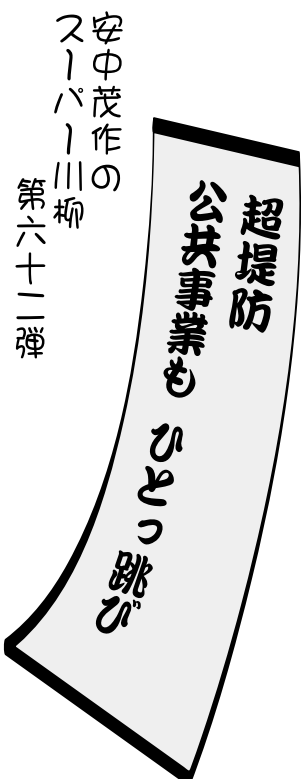
渡部委員(自民) (須田委員の発言を遮って)各会派の意見は割れて対立している。今期中に結論を出す。

須田委員 結論を出すのは当然だ。スーパー堤防廃止に対しては感情的になっている。

渡部委員(自民) 相手の意見は尊重すべきだ。

片山(副)委員 採択は今回でなくてもいい。

渡部委員(自民) 本日は継続とする。



区議会の野党5会派の有志議員が連名で反撃ビラを出します 15日付大手新聞各紙に折込み予定です(ご期待ください)

これは区内全域の町会・商店会など江戸川区傘下の各団体が、区の協力(要請?)を受けて出している「スーパー堤防などの強固な堤防整備を求める要望書」なる署名の不透明性や不当性、非民主性を訴える内容になっています。

良識ある区議会議員の皆さんの、熱いエールに心強い限りです。私たちも「スーパー堤防構想」の完全撤回まで、がんばりぬきましょう。

特報